

魂をゆさぶる調べ

ドイツバロック音楽への誘い

フラウト・トラヴェルソ 水谷 定徳  
ヴァイオリン 山本 佳輝  
ヴィオラ・ダ・ガンバ 譜久島 譲  
チェンバロ 伊藤 明子

G. F. ヘンデル フルート、ヴァイオリン、通奏低音のための  
トリオ・ソナタ 木短調

J. S. バッハ ヴァイオリンとチェンバロのための  
ソナタト長調 BWV1019

J. C. F. バッハ フルート、ヴァイオリン、チェンバロのための  
ソナタト長調

J. C. バッハ フルートとチェンバロのための  
ソナタ 二長調

C. P. E. バッハ フルートと通奏低音のための  
ソナタト長調

G. P. テレマン フルート、ヴァイオリン、ヴィオラ・ダ・ガンバ、通奏低音のための  
ソナタ・プリマ イ長調

2024年6月15日 (土)

14:30 開場

15:00 開演

今井館 聖書講堂

文京区本駒込6-11-15

都営三田線 千石駅から 徒歩5分  
JR 駒込駅から 徒歩11分  
南北線 駒込駅から 徒歩8分

全席自由

一般 4,000円  
ペア 6,000円  
学生 2,000円



## ■プロフィール

### フラウト・トラヴェルソ 水谷 定徳

Sadanori Mizutani, Transverse flute



慶應義塾大学法学部政治学科卒業。  
大学在学中より「慶應バロックアンサンブル」に所属し、  
ピリオド楽器による演奏を始める。フラウト・トラヴェルソ  
を故中村忠氏に師事。  
バルドルド・クイケン氏ほか国内外の演奏家から指導を  
受ける。

### ヴァイオリン 山本 佳輝

Yoshiki Yamamoto, Violin



東京芸術大学を経て、同大学院修士課程を修了。大  
学内にて福島賞、アカンサス音楽賞受賞。ソリストとして  
新日本フィル、藝大フィルと共演。  
第86回日本音楽コンクール作曲部門にてコンクール委  
員会特別賞受賞、第28回芥川作曲賞選考会にソリス  
トとして出演するなど現代作品に多く携わるほか、古楽  
器奏者としてバツハ・コレギウム・ジャパン、アントネッロなど  
の公演に出演。  
現在、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団第2ヴァイ  
オリン首席奏者。

### ヴィオラ・ダ・ガンバ 譜久島 譲

Yuzuru Fukushima, Viola da gamba



クラシックギターを江間常男、フラメンコギターを飯ヶ森康の  
各氏に師事。その後バロック音楽に興味を持ち、ヴィオラ・  
ダ・ガンバを平尾雅子氏に師事。  
感性豊かな音楽家としてさまざまな分野で、広く活躍して  
いる。またリコーダー製作を山岡重治氏に師事し、製作家  
として国内外で高い評価を受けており、その才能は、ヴィオ  
ラ・ダ・ガンバの調整や修理にも発揮されている。W.クイケ  
ン氏のマスタークラスにも参加、常に幅広いリサーチを行い  
演奏家としても意欲的である。

### チェンバロ 伊藤 明子

Akiko Ito, Harpsichord



武蔵野音楽大学器楽科ピアノ専攻卒業。ピアノを故荘良  
江、山崎冬樹、井上二葉の各氏に師事。またチェンバロを  
岡田龍之介、渡邊順生、故D.ヘルマン、栗形亜樹子の  
各氏に師事。ドイツ歌曲・日本歌曲を故佐々木成子氏、  
フランス歌曲を故中村浩子氏の下で研鑽を積む。  
現在、歌曲の伴奏、様々な合唱団のピアニストを務める。  
バツハ等の宗教曲、ヘンデルのオペラ公演では『リナルド』  
『セルセ』『アグリッピーナ』『アレックスandro』『デイダミア』他、  
最近では『トロメオ』の通奏低音を担当。日本ヘンデル協  
会、日本フォーレ協会会員。

## ■最寄り駅から今井館までの道のり

文京区本駒込6-11-15 (地図参照)

- ・JR駒込駅 南口から 徒歩11分
- ・南北線駒込駅 2番出口から 徒歩8分
- ・都営三田線千石駅 A4出口から 徒歩5分

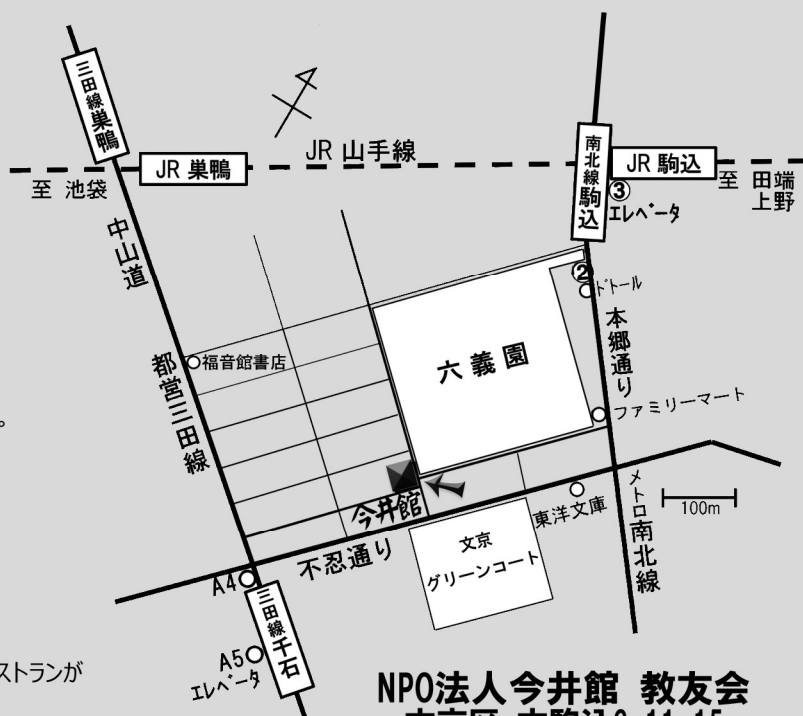
## ■お問い合わせ先

sadanori\_mizutani@yahoo.co.jp (水谷)

定員(40名)になり次第、チケットの販売を終了させていただきます。

## ■周辺のご案内

- ・六義園 小高い築山と広い池のある大名庭園  
入場料 一般 300円 65歳以上 150円  
9:00-17:00 (入園は16時30分まで)
- ・レストラン 不忍通りを渡った先の「文京グリーンコート」1階にレストランが  
4件あります。イタリアンと中華料理がおすすめです。



**NPO法人今井館 教友会**  
文京区 本駒込6-11-15

※表面の写真について

ドイツ・ピュッケブルクにある旧市庁舎の議会室。ヨハン・クリストフ・フリードリヒ・バッハはこの地の宮廷に生涯勤めた。結婚の承認はここで行われたという。